

## 三承工業(株)(建設業・岐阜市)

### 女性目線で職場の風土改革を実現。女性社員増と売上アップに繋げる

- ・ 女性中心のチーム活動で、女性が働きやすい環境を整備
- ・ 子連れ出勤や超短時間勤務、在宅勤務の導入により仕事と子育ての両立を支援

大半の建設業、例にもれず同社もかつては男性中心の職場でした。そのため、この会社風土を変えるため、西岡徹人社長が主導し女性でも働きやすい職場環境に改善する取組みを始めました。しかし、男性が多い職場ではなかなかその必要性が理解されず、現場との溝が深まるなど失敗の連続でした。

### 会社の風土改革に挑む「チーム夢子」

社長の発案とはいえ、会社の風土改革には社員の理解が欠かせません。そこで、平成26年頃から始めたのが、女性社員を中心に結成された「チーム夢子」です。「チーム夢子」の輪には、社員だけでなく、社員の妻や施主さんの妻なども加わり、会社に関わる様々な立場の女性の協力を得て、当時、建設業では珍しかった女性用トイレの設置やノー残業デーの設定、更には働くお母さん目線でのモデルハウスづくりなどを進めてきました。



現場で活躍する女性社員

### カンガルー出勤の導入で社内の雰囲気にも変化が



子どもを膝に乗せて働く西岡社長

また、同時期に「カンガルー出勤（子連れ出勤）」の制度も開始しました。当初は上手くいかないこともあったそうで、「社内でも、どのように赤ちゃんと接したらよいか戸惑いがあり、他の社員から舌打ちが聞こえてきたこともありました。しかし、社長自らが社員の子どもを抱っこしながらパソコンに向かう姿勢を示すなどして、徐々に職場内で受け入れられてきました」（かんだ すみよ神田純代ダイバーシティ推進室長）。



キッズルームでカンガルー出勤を行う社員

こうした時期を経て、今では社長室の隣にキッズルームが設けられ、親が働いている傍らで、様々な年齢の子どもたちが一緒に過ごす姿が見られます。カンガルー出勤の導入は、女性社員の増加に繋がっただけでなく、日常的に赤ちゃんと一緒に働く環境により、会社の雰囲気も良くなったとのこと。

これらの取組みを進めた結果、女性社員が10年間で26人増え、売り上げも約2倍に増加しました。

## 時間や場所の制約がある従業員のために短時間勤務の取組みも

また、最近では、子育て中など時間や場所の制約がある社員が本人の都合に合わせて、1日2～3時間程度でできる超短時間勤務の取組みも始まっています。例えば、動画編集などの特技を生かし、在宅勤務で入社式用の動画制作やSNSでの投稿などの業務をしている方もいます。「時間が割けず後回しにしていた業務を、得意な方をお願いできるので、業務効率も上がりました」と神田室長。中には、短時間勤務で自信を付けて、パートタイムからフルタイムでの勤務に移行される方もいます。

## 社員の得意分野を生かし、一人ひとりの存在意義が高まる職場へ

他にも、社員の「得意分野」を社内で共有し、顧客のニーズに合わせて、得意な社員に業務をお願いするなど、一人一人の能力を活用し、社員間でフォロー仕合う体制を取っています。こうした取組みにより、社員一人ひとりの存在意義が高まり、お互いに能力を高め合える良い循環が生まれています。

### 【従業員の声】

仕事と子育ての両立が難しいかなと思っていましたが、カンガルー出勤できる企業ということで出産後に入社しました。周りの皆さんも子どもに優しく接してくれるし、自分も一人の人間として働けるということが自信になりました。

【三承工業（株）】 (<https://www.sunshow.jp/>)

所在地：岐阜市水主町二丁目53番地

従業員：44名（うち正社員33名、その他パート・委託契約社員）

設 立：平成18年

（令和7年5月末時点）